

ロタワクチンの定期接種

対象は令和2年8月生まれ以降の乳児です。定期接種開始は2020年10月1日からです。それ以前生まれの乳児は対象外ですが、とても有用なワクチンですので自費接種をお勧めします。

ロタワクチンは約8年前に任意接種として導入されました。定期接種化に当たり専門家によって有効性、安全性、費用対効果などが慎重に検討されたと聞いています。

ロタウイルス感染症の症状は下痢や嘔吐などです。脱水がひどくなるとショック、
でんかいしつじょう
電解質異常、時には死に至ることもあります。

特別な治療がなく、下痢等に対する^{ゆえき}輸液療法や食事療法が中心となり、全国で年間26,500～78,000人が入院しています。

感染力は強く、少量の下痢便やはいた物で感染します。保育園や幼稚園などで誰かが発症すると沢山のこどもに感染が広まってしまいます。通常の手洗いやアルコール消毒にも強いため塩素系漂白剤でしっかり消毒する必要があります。

ワクチンは、2回接種ワクチンと3回接種ワクチンの2種類があり、どちらかのワクチンを選択できます。どちらのワクチンも生後6週から接種をはじめることができますが、初回接種は遅くとも生後3か月半過ぎ(生後14週6日)までに受けてください。接種できる期間がとても短いので、お子さんが生まれたらできるだけ早めにかかりつけ医と相談して、接種スケジュールを立てておきましょう。

コロナの大流行で外出制限が求められています。大事なこども達を重症感染症から守る予防接種は大切です。積極的に予防接種を受けてくださるようお願いいたします。